

コーヒータイム

令和7年 4月 第368号

鉛打地域協議会発行

中島地区コミュニティセンター・鉛打分館 66-0099



鉛打地区の世帯数と人口

	(2月末日)	(前月比)
世帯数	288	(±0)
人口 男	325	(+1)
人口 女	344	(±0)
計	669	(+1)

地域の皆さん いつもありがとうございます

4月7日 中島小・中学校で入学式が行われ、新学期が始まります

なたうちっ子を見守ってください！



桜ライトアップをします 4月5日（土）～ 桜が散るまで

桜の季節になりました。去年の桜は満開でたくさんの方がお花見に来ていきました。今年も有志の方にご協力いただき、4月5日にライトアップをします。

夜は幻想的な桜を見ることが出来ます。



去年の桜の風景

狂犬病予防接種実施日

日時：4月12日（土）
午前9時30分～10時10分
場所：中島地区
コミュニティーセンター



鉛打診療所 診療日のお知らせ (毎週金曜日 午後1時30分～)

4月は 11日、25日 です

※医師の都合により休診する場合もあります

鉛打診療所 66-0521

中島地区社会福祉協議会からお知らせ

～スマイルサロン～

日 時：4月15日（火）午後2時～3時30分

場 所：中島コミセン 多目的ホール

内 容：モルックを体験しよう

講 師：スポーツ推進員

参加費：100円（おやつ代）

申込先：中島地区社会福祉協議会

66-1756（午前中のみ）



興能信用金庫「中島支店」

営業時間変更（短縮）のお知らせ

4月1日より営業時間が変更になりました

●窓口営業時間 午前9時から午後2時まで

（お昼休憩時間 11:30～12:30）

●ATM営業時間 午前9時から午後2時まで



3月16日（日）『新一年生お楽しみ会』

中島地区コミュニティセンター熊木分館で『新一年生お楽しみ会』がありました。中島地域づくり協議会会長からプレゼントの贈呈や熊木分館2階にある子どもの広場の利用等についての説明を聞いたり、お楽しみ会で輪投げや魚釣りゲームなどをして楽しみました。



「鉛打鶴亀クラブ」次の事業で、令和6年度の事業を終了する

□『交通安全・防犯教室』&『第1回 輪投げゲーム大会』

- ・とき 令和7年3月3日（月）
- ・ところ 藤瀬高齢者センター



時折、雪が舞う天候でしたが、「藤瀬高齢者センター」は熱気で満ち溢れた（参加者32名）

第1幕は「交通安全・防犯教室」と題し、石川県警察本部（交通企画課）米尾香織さん、石川県生活環境部（生活安全課）田畠芳美さんが扮する「おはるさんとよしみさん」の寸劇を楽しんだ。身近な事例を取り入れた寸劇を、真剣な表情で聞き入っていた。また、二人の演じるしぐさから、おだやかな“笑い”で会場は賑わった。

第2幕として、「第1回 輪投げゲーム大会」で競い合った。今回、第1回と冠を付し、チームをAからEの6組で編成し、ニュースポーツを楽しみながら親睦を深めた。今後、回数を重ね、歴史ある大会となることを期待したい。入賞チームは次の皆さん。

1位（Aチーム） 宮本栄二・笛弥久信・山下照男・木下豊秋・谷口清

2位（Eチーム） 小林昭一・数左繁・田中富美子・山口とみ子・広田和子



□『鹿北三町老人クラブ連合会（第12回スカットボール交流大会）』

- ・とき 令和7年3月6日（木）
- ・ところ 田鶴浜体育館

会場を「田鶴浜体育館」に移して、鹿北三町のシニアたちが競い合った（参加者126名、全チーム22組）この大会は、“コロナ禍”的ため一時休止状態であったが、久しぶりに鹿北三町が一同に会し、競技する機会を得た。そのせいか会場内では“あんた、息災におったかいね”の言葉が飛び交う場面も見られ、胸を打つ光景で、まさに交流の場であった。「鉛打鶴亀クラブ」から選出されたチームの皆さん。

〈選手団長〉 会長 清水勉

〈選 手〉 亀山利子、谷口宮子、山口とみ子、長田淑子、用下時江



□令和6年度『定例総会』

- ・とき 令和7年3月25日（木）
- ・ところ 第1部 鉛打分館 研修室（講演・定例総会）
第2部 懇親会（いこいの村・能登半島）



今や風物詩として定着している定例総会が3月25日に二部構成として、清水勉会長の挨拶をもって盛大に開催された。その日は会員42名のアクティブ・シニアたちの集まりで賑わった。

第1部「基調講演」では、「能登半島地震とボランティア活動」と題し、正覚寺（上畠）福田正充住職の講演があった。住職のボランティア活動の体験談を始め、持ち前の話術で会場は時折笑いと納得で包まれていた。講演終了後、定例総会に移り、議長に川畠義明さんを選出し“テキパキ”とした進行により、予定した全議案を可決・決定した。木下豊秋さん（第四クラブ長）の閉会のことばで総会を閉じた。

引き続き会場を変え、第2部「懇親会」に移った。長年のコロナ禍で、一同に会する機会を失くしていたが、今回は熱気でみなぎっていた。次々と持ち前の歌・演舞が披露されるなど、元気よく動き回るしぐさは、まさに“アクティブ・シニア”たちで賑わった。

